



発行：福島市男女共同参画センター
福島市本町2-6ウィズもとまち2F

ウィズぴあ

平成29年

Women's Innovation College インふくしま

女性が活躍できるまちを目指して、職業生活における女性の活躍に絞り、企業、団体等で活躍する女性を対象に全4回の講座が、7月から10月にかけて行われました。

● 第1回基調講演 ●

『女性はもっと活躍できる！～経営戦略としての女性活躍推進』

岩田喜美枝氏（公益財団法人21世紀職業財団会長）

- ・企業持続的な発展のためには、人材の完全活用が必要です。人材は経営資源の中で、最も大切なものであり、その経営資源が「女性だから」「子どもがいるから」という理由で活用できていないことは、人材の大きな無駄遣いであり、企業にとっては大きな損失である。
- ・常識に非常識が加わることによってイノベーションが生まれ、企業の持続的発展につながる。（男性職場に、女性や外国人、障害者が一緒に働くことでイノベーションが生まれる）
- ・消費者の多様なニーズを理解するには、多様なニーズで対応する。
- ・働き方改革の2つの課題（①長時間労働の是正、②柔軟な働き方）で、どちらが難しいかというと①の方である。②は、経営トップが認めればすぐに出来る。
- ・男性の働き方を女性化し、家事と育児を男性と一緒にやる。

● 第2回先進的企業の発表 ●

● タカラ印刷株式会社

代表取締役 林 克重 様

『社員の幸せを創りたい』



● 株式会社アポロガス

元気エネルギー供給事業部
伊藤 さやか 様

『女性が活躍できる

働きやすい職場づくり』



● 株式会社東邦銀行

ダイバーシティ推進室兼パトナ
支援室長 戸田 満紀子 様

『働きがいのある職場環境づくりに向けて～東邦銀行におけるダイバーシティへの取組～』



● 第3回ワークショップ、第4回提案書発表 ●

女性が輝く、会社が輝く！私たちが求める職場づくり

第3回は、26名の受講生(管理職と女性社員)が5班に分かれて、「女性が活躍できる働きやすい職場づくり」をテーマにワークショップを行い、第4回で各班でまとめあげた提案を発表しました。

1班

【提案】女性視点で職場改善

- ・女性による他社交流や情報交換、好事例等の収集

【提案】育児休暇中における職場からのフォロー

- ・定期的な会社との交流会の実施
- ・男性社員の育休取得促進や在宅勤務制度の導入



<1班のプレゼンテーションの様子>

2班

【提案】女性が働きがいを持って活躍できる職場づくり

- ・キャリアデザイン、キャリアアップのためのセミナー開催による意識の向上

【提案】福利厚生制度の目的と女性の活躍

- ・常に良いコミュニケーションが取れる環境を作るため、部署間を横断する交流機会の創出、テーマを決めたミーティングの定期開催



<2班のプレゼンテーションの様子>



<3班のプレゼンテーションの様子>

3班

【提案】上司が積極的に休暇を取得する

- ・上司が休暇取得のロールモデルになり、孫の出産休暇や介護休暇の積極的な取得と取得率の開示

【提案】制度についての教育実施の徹底

- ・制度の情報格差を無くすため、制度教育の徹底



<4班のプレゼンテーションの様子>

4班

【提案】休暇制度等の活用推進

- ・雇用側からの休暇促進
(各社の業務体系に合ったアニバーサリー休暇等)

【提案】女性が働き続ける事への男性の理解

- ・子供の病気休暇等でも休暇を取りやすい、相互のフォローが出来る職場づくり
- ・女性のキャリアアップの研修等への参加



<5班のプレゼンテーションの様子>

5班

【提案】福利厚生制度の充実として「積立年次有給休暇制度」の導入

- ・時効消滅する年次有給の残日数を積立

【提案】細分化でベストマッチ～人の成長を社会として応援する体制に～

- ・業務を細分化し見える化



<講師の庄嶋さんの講評を熱心に聞く受講生>



<講師のお二人と一緒に>